

平成30年4月3日

## 平成30年度 北九州市立楠橋小学校 学校経営の基本方針

北九州市立楠橋小学校  
校長 安元裕彦

### 一期一会

一生に一度だけの機会。生涯に一度限りであること。生涯に一回しかないと考えて、そのことに専念する意。もと茶道の心得を表した語で、どの茶会でも一生に一度のものとして心得て、主客ともに誠意を尽くすべきことをいう。

「一期」は仏教語で、人が生まれてから死ぬまでの間の意。

### 学校文化、校風

ある教育活動の時間が経過し、人事異動で職員が変わっても、延々と受け継がれて色あせることなく、学校の特色となって生きているもの。

学校の教育活動が歴史と伝統に支えられて、その学校ならではの文化、校風になっているもの、教育活動が花開いたもの。

### よい風を受け、変容する学校

その学校に入学したら、その学校のよい風を受けて子どもが自然とよりよく変容していく学校。

その学校に転動したら、その学校のよい風を受けてよりよく先生たちが変容していく学校。

理想を高くもち、学校のあるべき姿を追い求めている教師と子ども。教師と子どもが共に同じ方向に合わせて進んでいる学校。

### 1 北九州市教育の目標

「思いやりの心をもつ、自立した子どもを育む」

- 自分の可能性を信じ、夢や希望をもつ子ども
- 自分の力でやり遂げ、自立する力をもつ子ども
- 思いやりの心をもち、行動できる子ども

### 2 教育委員会 「指導の重点」

一人一人に「生きる力」をはぐくむ学校教育の創造

- 心の育ちの推進
- 確かな学力の向上
- 健やかな体の育成

～ 授業の改善・一時間一時間の授業の中に教育のすべてがある ～

### 3 学校教育目標

心豊かで たくましく 実践力のある子どもの育成

#### 4 目指す学校像 『子どもたちの笑顔があふれる学校の創造』

- ・ 子どもをど真ん中においた、楽しい学校
- ・ 子どもが力をつけ、自分の価値を感じる学校
- ・ 温かい人間関係と信頼で結ばれた学校
- ・ 地域に開かれた学校

#### 5 目指す子ども像

- 思いやりのある子（徳）  
「相手を思いやり、仲良く助け合える子ども」
- 健康でたくましい子（体）  
「健康で、最後まで粘り強く頑張れる、たくましい子ども」
- かしこい子（知）  
「進んで学び、自分で考え、よりよく行動できる子ども」

#### 6 目指す教師像

- ・ **同僚性を発揮する教師**
- ・ 自らの人間性を高める教師
- ・ **子どもの力を伸ばすために、子どもがより良く変容するために努力を惜しまない教師**
- ・ **子どもに明るく接し、温かい指導をする教師**
- ・ **組織の一員としての自覚をもち、協調性をもつ教師（ベクトルをそろえる）**
- ・ 教職の専門性、とりわけ指導力の向上のために常に自己研鑽に努め、自分をより良く変容させる努力をする教師
- ・ 自分に、自分の仕事に誇りと自信をもった教師

#### 7 重点目標

##### (1) 基本的学習習慣・生活習慣の定着

- ・ 学年や学級の課題を全職員で共有（一人一人の児童を全教職員で育てる）
- ・ 挨拶指導の徹底（明るく、気持ちの良い挨拶が、自らできるように）
- ・ 担任外教員の効果的な活用  
(より多くの職員が児童と関わることのできる体制づくり)

- ・ 生活指導（安全・清掃・言葉遣い・見守り隊との連携等）の徹底
- ・ 生徒指導の充実（確実な事実確認と早期即日対応で早期解決を）

##### (2) 確かな学力保証→「わかる」「できる」授業づくり

- ・ 少人数指導の工夫（少人数・TTでの指導～重要単元の精選）
- ・ 「朝の10分間読書」「読み聞かせ」「楠の子タイム」「昼休みや放課後学習会」「子どもひまわり学習塾」の継続。
- ・ 学力体力向上関連事業の活用・推進教員との連携  
「学力向上推進教員」「小中連携教員」「保幼小連携教育」「**体力アップ一校一取組**」

- (3) 豊かな心と健やかな体をはぐくむ人権教育の推進
  - ・香月中校区事業の取組（人を思いやり、いじめや差別のない学校づくり）
  - ・特別支援教育の充実（支援体制づくり）
  - ・**子どもと向き合い、関わりあう時間の確保**
  - ・道徳の授業時数の確保と内容の充実
  - ・健康的な生活習慣の育成（朝食・歯磨き・運動等）
- (4) 新指導要領へ向けた取組（教育課程企画特別部会 論点整理より）
  - ・特にこれからの時代に求められる資質・能力 「 三つの柱 」
    - 1 「何を知っているか、何ができるか（個別の知識・技能）」
    - 2 「知っていること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力）」
    - 3 「どのように社会・世界とかがわり、よりよい人生を送るか  
（学びに向かう力、人間性など）」

※ 授業改善→「話し合う活動」「書く活動」を位置づける。

- (5) スクールプランの推進
- (6) **本気の業務改善、働き方改革**
- (7) シビックプライドの醸成、「ふるさと力」を活用したアクティブラーニング
- (8) 人材育成の推進（OJT の組織的な実施）

『子どもたちの笑顔があふれる学校の創造』

